

アドビシステムズ社がカリフォルニア州知事 アーノルドシュワルツネッガー氏を招き CEO サミットを開催

アドビ、Applied Materials、HP、Solectron、Synopsys の CEO と
スタンフォード大学学長が、経済回復の重要課題について州知事と意見交換

【2004年2月6日】

米国カリフォルニア州サンノゼ発（2004年2月4日）（NASDAQ：ADBE）Adobe Systems Incorporated（本社：米国カリフォルニア州サンノゼ 以下アドビシステムズ社）は本日、Silicon Valley Manufacturing Group（SVMG）と共同でCEOサミットを開催すると発表しました。このサミットは、シリコンバレーの有力企業各社のリーダーとカリフォルニア州知事アーノルドシュワルツネッガー氏が参加し、2004年2月5日にアドビシステムズのサンノゼ本社にて行われます。

サミットでは、まず州知事とシリコンバレーの企業幹部および学識者による精鋭グループで非公開の会議を行います。精鋭グループの参加者は、アドビシステムズ社社長兼CEO（最高経営責任者）のブルースチゼン（Bruce Chizen）、Applied Materials社のマイケルスプリンター（Michael Splinter）CEO、HPのカーリーフィオーリーナ（Carly Fiorina）社長兼CEO、Solectron社のマイケルキャノン（Michael Cannon）社長兼CEO、Synopsys社のアートデゲウス（Aart de Geus）会長兼CEO、スタンフォード大学のジョンヘネシー（John Hennessy）学長のほか、シリコンバレーの15人のCEOです。

州知事を交えての非公開会議に引き続き、サミットに招待されたビジネスリーダー、政府高官と記者を加え、サミットを進行します。サンノゼ州立大学のラリーガーストン（Larry Gerston）教授（政治学）による「Economic Vitality Survey（経済活力調査）」（調査：SVMG）結果の解説後、San Jose Mercury Newsのデビッドヤーンロルド（David Yarnold）編集兼取締役副社長を司会進行役に迎え、経済回復をテーマとしたパネルディスカッションを行います。ディスカッションには閣僚のスンネライトマクピーク（Sunne Wright McPeak）カリフォルニア州ビジネス運輸住宅庁長官も参加します。

州知事とシリコンバレーのリーダー企業が経済回復の鍵となる課題を討議

州知事とシリコンバレーのビジネスリーダー企業各社は、州知事が進める経済回復計画の中核である6つの課題（経済復興債、労働者の賃金、教育、エネルギー、住居、安易な訴訟）について重点的に討議します。

SVMG社長兼CEOであるカールガーディノ（Carl Guardino）は、「CEOというものは、問題の解決に注力しています。州知事が約20人のCEOと膝を交えての非公開会議を希望したのも、解決策の話し合いと関係づくりが念頭にあるからです。シリコンバレーとサクラメント（州都）を優秀な人材と解決策とで結びつけたいと望んでいるのです」と述べています。

アドビシステムズ社のブルースチゼンは、「世界有数のソフトウェア企業の1つであるアドビシステムズ社には、シリコンバレーが今日直面しているビジネス問題と経済問題の解

決に尽力する責任があります。今回のサミットの目標は、シリコンバレーのリーダー企業と州の対話を促進して、カリフォルニア州の経済回復を軌道に乗せるべく協調体制を構築することにあります」と述べています。

アドビシステムズ社について

アドビシステムズ社は、人々のそして企業間のコミュニケーションをより豊かにするために、業界をリードするデジタルイメージング、デザインならびにドキュメント技術のプラットフォームを、一般ユーザ、法人ユーザおよびクリエイティブプロフェッショナル向けに提供しています。アドビシステムズ社の2003年度の売上は10億米ドル超でした。アドビシステムズ株式会社はその日本法人です。詳細な情報は、Webサイト <http://www.adobe.co.jp/> でご覧いただけます。